

# 被害者にも加害者にもならないWebサービス

～ ビジネス継続性と、情報セキュリティを確保するために～

日 時 2009年2月19日(木) 午後1時～5時  
会 場 明治記念館 東京都港区元赤坂2-2-23

ICT環境の高度化に伴い、インターネットを利用したASPやSaaSなどのWebサービスを一般ユーザーが享受できる環境が整いつつある一方、悪意あるユーザーによるクロスサイト・スクリプティングやSQLインジェクション等の攻撃により、住所や電話番号、クレジットカードなどの個人情報の漏えいなど、経済的な損失も伴う被害の拡大も深刻なものとなっております。

ASPやSaaSのサービスや、Web上で個人情報を取り扱う企業のセキュリティ責任者や運用管理者の方に、現状を正しく認識していただき、我が国の施策と併せて企業としてどのような対策を講じるべきかを広く啓蒙するのが本セミナーの趣旨となります。

## 【基調講演1】我が国の情報セキュリティ政策

【13:00～13:50】

ICTが社会基盤化し、サービスの多様化、利便性の向上が進む中、万一の場合の備えも重要。こうした状況を踏まえた我が国の情報セキュリティ政策とは。

内閣官房 情報セキュリティセンター 内閣参事官 上原 仁 氏

## 【基調講演2】Webサービスへの攻撃手法の現在と未来

【14:00～15:00】

Webサービスを狙う攻撃手法から、今後考えられる攻撃手法を推測する。今、企業がやるべきこととは。

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授 門林 雄基 氏

## 【セッション1】Webサービスセキュリティへの脅威の実際とその対策

【15:15～16:00】

Webサービスへの攻撃に対するトレンドと被害に遭われた企業の対応事例。個人情報の保全とビジネス継続性を維持するために企業に求められる、具体的な施策とは。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

## 【セッション2】Web Application Firewallの有効性とその活用法

【16:10～17:00】  
逐次通訳付

Webサービスのセキュリティ対策として認知されつつあるWeb Application Firewall(WAF)。その有効な活用方法とは。

Imperva社 Director of Product Marketing , CISSP Dean P. Ocampo 氏

【主催】 財団法人 原総合知的通信システム基金

【協賛】 ・株式会社 Imperva Japan  
・株式会社データコントロール

【対象】 ・ASP、SaaS のサービス  
・ハウジング・ホスティング事業者  
・インターネット決済事業者  
・Webサイト上で個人情報を取り扱う一般企業  
上記企業・事業者の、CIO、セキュリティ管理責任者(CSO)、Webサービスサイト  
運営責任者・担当者

受講料 無料

お申込方法 下記のお申込フォームにご記入いただきFAXでお申込み下さい。折り返し、受講証(当日ご持参下さい)、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。

お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。

お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。

2月19日(木) 「被害者にも加害者にもならないWebサービス」				申込日	月	日
貴社名						
所在地	〒					
TEL	( )	-	FAX	( )	-	
E-mail						
氏名	所属部署・役職					

「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	
-----	--

主催(お申込み・お問い合わせ先) 財団法人原総合知的通信システム基金

〒105-0003 港区西新橋2-1-1 興和西新橋ビル11階

Tel:03-5532-8898 / Fax:03-5532-8851

E-mail: info@ssk21.co.jp URL: <http://www.hara-rf.jp> 09059-H